



各 位

2023年5月12日

会社名 株式会社 精工技研
代表者名 代表取締役社長 上野 昌利
(コード番号 6834 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員管理部長 齋藤 祐司
(TEL. 047 - 388 - 6401)

2023年3月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2022年5月13日に公表した2023年3月期通期連結業績予想値と本日公表した実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想値と実績値との差異について

2023年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,400	1,740	1,760	1,240	135.92
実績値 (B)	16,282	1,390	1,606	1,082	118.64
増減額 (B-A)	△2,118	△350	△154	△158	
増減率 (%)	△11.5	△20.1	△8.8	△12.7	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	16,188	1,524	1,641	1,150	126.05

2. 連結業績予想値と実績値との差異の理由

2023年3月期の売上高は、前期実績を上回り過去最高となったものの、車載用成形品や光通信用部品の売上高が期初の想定を下回ることとなりました。自動車関連市場では、半導体の供給不足が解消に至らず、自動車メーカー各社において生産調整が実施されました。また、光通信関連市場では、新型コロナウイルスにより拡大したりリモートワーク需要が縮小に転じたことで、下期以降、大手IT関連企業の設備投資にブレーキがかかり、光通信網の敷設やデータセンターの新設が滞ることとなりました。

損益面では、資源価格や物流コストの上昇を受けて電力費や荷造運賃が前期実績比で増加しましたが、販売費及び一般管理費は期初計画の範囲内で推移しました。売上高の未達により売上総利益が減少した結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を下回ることとなりました。

以 上